

2010年 年間テーマ

「わくわくが未来を創る」

専門分野にコーチングを活用する

① 1周年記念セミナー「わくわくが未来を創る」

国際コーチング連盟マスターコーチ安海将広氏登壇

正会員一人ひとりが自由に自分の夢を語り、その夢の実現を会員同士が互いに応援しあい、切磋琢磨しながら形にしていく。その出会いの場となるのが京都チャプターです。



② 「法律問題とコーチング」

運営委員で弁護士岡田一毅氏が登壇

弁護士・税理士・会計士・社労士・等々の士業専門家が参加。京都チャプターが専門士業界にインパクトを及ぼす！



③ 「高齢者介護とコーチング」

運営委員の真辺一範氏が登壇

京都チャプターが福祉業界にコーチングの活用性を打ち出しはじめる。

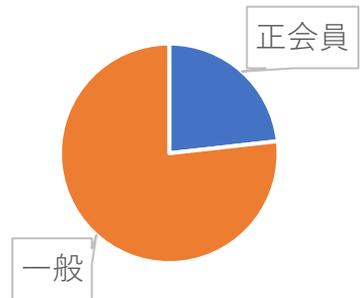


【数字で見る活動】

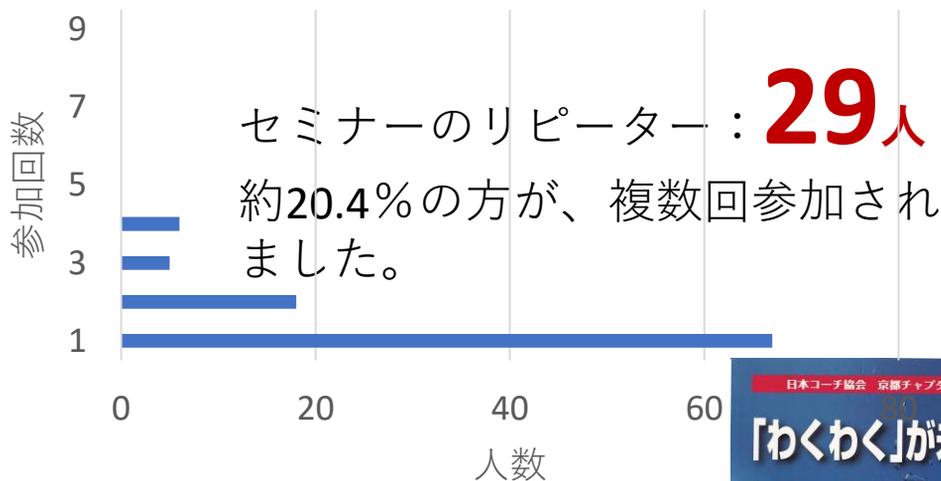
年間**9回**セミナーを実施。

延べ**142名**が参加。

参加者の内訳は右記。



2010年末時点での正会員数は**33名**



参加者の声(アンケート結果より、一部編集して掲載)

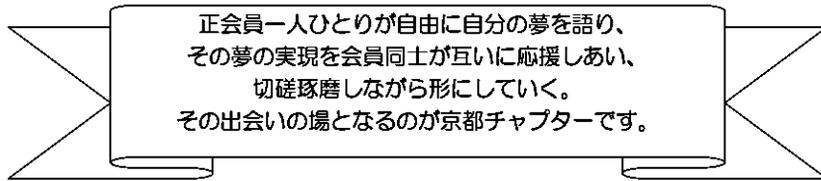
・つい自分の思う方向に導こうとしがちですが、その人の気付いてもらえるような多面的な質問が有効であることがわかりました。

・こだわっていることは何かを考えることが大切。良いイメージを聞くことと、逆に不安要素（自信が持てない事）を明確化してみようと思った。テクニックの話ではなく、思い、生き方を考えるきっかけになるセミナーでした。



【京都チャプターの思いを発信】

日本コーチ協会京都チャプターとは



【理念】

- ・ 京都チャプターは、会員同士が相互理解し、自己探求する場を**提供**します。
- ・ 京都チャプターは、社会のニーズにあったコーチング諸技法について**研究**します。
- ・ 京都チャプターは、本人・家族・企業・地域社会など多方面の公益の増進に**貢献**します。

提供とは

(自己実現) 京都チャプターは、会員1人1人が 人として コーチとして 自分を活かすための 発見の場を提供します。

(相互尊重) 京都チャプターは、会員が、お互いを理解し、尊重し、それぞれの豊かな人生と成長をサポートする場を提供します。

研究とは

(研修・研究) 京都チャプターは、コーチの健全な育成とコーチング諸技法の研究の場を提供します。

(ニーズの把握) 京都チャプターは、市場や社会のニーズを把握し、時代の要請に応えるコーチングを提供します。

貢献とは

(業界への貢献) 京都チャプターは、産業界、医療界、福祉界、教育界、スポーツ界など多方面の公益の増進に貢献します。

(日常生活への貢献) 京都チャプターは、家庭・地域・各種コミュニティの1人1人がしあわせて豊かな人生を送ることに貢献します。

